

## 第 8 章 家庭

### 第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等

#### 1 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して，家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け，家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。

#### 2 評価の観点及びその趣旨

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
衣食住や家族の生活について関心をもち，家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	家庭生活について見直し，身近な生活の課題を見付け，その解決を目指して考え自分なりに工夫する。	衣食住や家族の生活に必要な基礎的な技能を身に付けている。	衣食住や家族の生活に関する基礎的な事項について理解している。

#### 3 内容のまとめりごとの評価規準の設定

家庭科においては，学習指導要領の内容の(1)～(8)を内容のまとめりとして，これらごとに評価規準を作成した。

### 第 2 内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### 第 5 学年及び第 6 学年

#### 1 学年目標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して，家庭生活を支えているものが分かり，家庭生活の大切さに気付くようにする。
- (2) 製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け，自分の身の回りの生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい，家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

#### 2 第 5 学年及び第 6 学年の評価の観点の趣旨

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
衣食住や家族の生活について関心をもち，家族の一員として，家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。	衣食住や家族の生活について見直し，課題を見付け，その解決を目指して，家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。	生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。	家庭生活を支えているものや大切さを理解し，衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。

#### 3 学習指導要領の内容，内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

##### (1) 「家庭生活と家族」

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 家庭生活に関心をもって，家庭の仕事や家族との触れ合いができるようにする。
  - ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かること。
  - イ 自分の分担する仕事を工夫すること。
  - ウ 生活時間の有効な使い方を考え，家族に協力すること。
  - エ 家族との触れ合いや団らんを楽しくする工夫をすること。

【「家庭生活と家族」の評価規準】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
家庭生活に関心を持ち、家庭の仕事をしたり、家族との触れ合いをもったりしようとしている。	家庭生活を見直し、家庭の仕事や家族との触れ合いについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。	家庭の仕事を分担したり、家族との触れ合いをもったりすることができる。	家庭の仕事や家族との触れ合いを通して、家庭生活や家族について理解している。

【「家庭生活と家族」の評価規準の具体例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の仕事に関心をもっている。</li> <li>・自分の分担する家庭の仕事に取り組もうとしている。</li> <li>・生活時間を有効に使い、家族に協力しようとしている。</li> <li>・家族との触れ合いや団らんを楽しくしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の仕事を見直し、自分の分担する仕事について考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・生活時間を有効に使い、家族への協力について考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・家族との触れ合いや団らんを楽しくもてるよう、考えたり自分なりに工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家族の生活を支えるための仕事を分担することができる。</li> <li>・生活時間の有効な使い方を考え、家族に協力することができる。</li> <li>・家族との触れ合いや団らんを楽しくもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭には、自分や家族の生活を支える仕事があることを理解している。</li> <li>・家族の一員として、仕事を分担することについて理解している。</li> <li>・生活時間の有効な使い方について理解している。</li> <li>・家族との触れ合いや団らんについて理解している。</li> </ul>

(2) 「衣服への関心」

【学習指導要領の内容】

(2) 衣服に関心をもって、日常着を着たり手入れしたりすることができるようにする。

ア 衣服の働きが分かり、日常着の着方を考えること。

イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗たくができること。

【「衣服への関心」の評価規準】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
衣服に関心を持ち、日常着を気持ちよく着たり、手入れをしたりしようとしている。	衣生活を見直し、日常着の着方と手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。	日常着の着方と手入れに関する基礎的な技能を身に付けている。	衣服の働きが分かり、日常着の着方と手入れについて理解している。

【「衣服への関心」の評価規準の具体例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働きや日常着の着方に関心を持ち、気温や季節の変化、生活場面に応じた着方をしようとしている。</li> <li>・日常着の手入れに関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の保健衛生上の働きや生活活動上の働きをもとに、日常着の着方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や季節の変化に応じて、日常着を着用することができる。</li> <li>・生活場面に応じて、日常着を着用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の保健衛生上の働きが分かり、気温や季節の変化に応じた着方を理解している。</li> <li>・衣服の生活活動上の</li> </ul>

をもち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。	・衣服を気持ちよく着るために、日常着の手入れを考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・ボタン付けができる ・手洗いを中心とした洗たくができる。	働きの分かり、生活場面に応じた着方を理解している。 ・衣服を気持ちよく着るために、ボタン付けや洗たくなどの手入れについて理解している。
--------------------------------------	---	----------------------------------	--

(3) 「生活に役立つ物の製作」

【学習指導要領の内容】

(3) 生活に役立つ物を製作して活用できるようにする。

ア 布を用いて製作する物を考え、製作計画を立てること。

イ 形などを工夫し、手縫いにより目的に応じた簡単な縫い方を考えて製作ができること。

また、ミシンを用いて直線縫いをすること。

ウ 製作に必要な用具の安全な取扱いができること。

【「生活に役立つ物の製作」の評価規準】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
布を用いた生活に役立つ物の製作に関心をもち、製作し、活用しようとしている。	布を用いた生活に役立つ物の製作について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的な技能を身に付けている。	布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的な事項について理解している。

【「生活に役立つ物の製作」の評価規準の具体例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に役立つ物を布を用いて製作することに関心をもっている。</li> <li>・どのような形や機能をもつ物にするかを具体的に構想し、製作計画を立てようとしている。</li> <li>・製作に必要な材料や用具等を準備し、製作しようとしている。</li> <li>・製作する楽しさや活用する喜びを味わおうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活での布の活用について見直し、製作する物やその製作計画について考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・手縫いにより目的に応じた簡単な縫い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・ミシン縫いを取り入れ、縫い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布を用いて製作する物の製作計画を立てることができる。</li> <li>・手縫いにより目的に応じた簡単な縫い方ができる。</li> <li>・ミシンを用いて、直線縫いをすることができる。</li> <li>・手縫い、必要に応じてミシン縫い(直線)で製作することができる。</li> <li>・製作に必要な用具の安全な取扱いができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に必要な材料や用具が分かり、製作手順や時間の見通しを理解している。</li> <li>・手縫いによる簡単な縫い方を理解している。</li> <li>・ミシンの使い方を理解している。</li> <li>・製作に必要な用具の安全な取扱い方を理解している。</li> </ul>

(4) 「食事への関心」

【学習指導要領の内容】

(4) 日常の食事に関心をもって、調和のよい食事のとり方が分かるようにする。

ア 食品の栄養的な特徴を知り、食品を組み合わせるとる必要があることが分かること。

イ 1食分の食事を考えること。

【「食事への関心」の評価規準】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
--------------------	-----------------	-------	--------------------

日常の食事に関心を持ち、調和のよい食事のとり方をしようとしている。	食生活を見直し、調和のよい日常の食事について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	調和のよい日常の食事のとり方に関する基礎的な技能を身に付けている。	調和のよい日常の食事のとり方について理解している。
-----------------------------------	--	-----------------------------------	---------------------------

【「食事への関心」の評価規準の具体例】

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の栄養的な特徴や食品の組み合わせに関心をもっている。</li> <li>・米飯とみそ汁を中心とした1食分の食事のとり方に関心をもっている。</li> <li>・食事をするにより、体の成長や活動に必要なものがとれることや人間関係が豊かになることに関心を持ち、食事をとろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯とみそ汁を中心とした1食分の食事が、調和のよい食事となるよう、食品の組み合わせなどを考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯とみそ汁を中心とした1食分の食事の計画を立てることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に含まれているいろいろな成分の体内での主な働きにより、食品をグループに分ける分け方を理解している。</li> <li>・栄養的に調和がとれるよう、食品を組み合わせるときの必要性を理解している。</li> <li>・1食分の食事としてどのように食品を組み合わせればよいのか理解している。</li> </ul>

(5) 「簡単な調理」

【学習指導要領の内容】

(5) 日常よく使用される食品を用いて簡単な調理ができるようにする。

ア 調理に必要な材料の分量が分かり、手順を考えて調理計画を立てること。

イ 材料の洗い方、切り方、味の付け方及び後片付けの仕方が分かること。

ウ ゆでたり、いためたりして調理ができること。

エ 米飯及びみそ汁の調理ができること。

オ 盛り付けや配膳を考え、楽しく食事ができること。

カ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い及びこんろの安全な取り扱いができること。

【「簡単な調理」の評価規準】

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
調理に関心を持ち、日常よく使用される食品を用いた簡単な調理をしようとしている。	日常よく使用される食品を用いた簡単な調理について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	日常よく使用される食品を用いた簡単な調理に関する基礎的な技能を身に付けている。	日常よく使用される食品を用いた簡単な調理に関する基礎的な事項について理解している。

【「簡単な調理」の評価規準の具体例】

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
調理に必要な材料や分量、手順を考えて調理計画を立てようとして	調理計画を考えたり自分なりに工夫したりしている	調理に必要な材料の分量を計量したり、手順を考えて調理計	調理に必要な材料の分量が分かり、手順を考えた調理計画の

<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に合った洗い方，調理に合った材料の切り方，味の付け方及び後片付けをしようとしている。</li> <li>・ゆで方やいため方に関心をもち，材料や目的に応じた調理をしようとしている。</li> <li>・米飯，みそ汁に関心をもち，作ろうとしている。</li> <li>・盛り付けや配膳に関心をもち，楽しく食事をしようとしている。</li> <li>・調理に必要な用具や食器及びこんろを安全で衛生的に取り扱おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に合った洗い方，調理に合った材料の切り方，味の付け方及び後片付けを考えたり自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・材料や目的に応じたゆで方やいため方を考えたり，自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・おいしい米飯とみそ汁の作り方を考えたり，自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・盛り付けや配膳を考えたり，楽しく食事をするための工夫をしたりしている。</li> <li>・用具や食器及びこんろの安全で衛生的な取り扱いを考えている。</li> </ul>	<p>画を立てたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に合った洗い方，調理に合った材料の切り方，味の付け方及び後片付けができる。</li> <li>・材料や目的に応じてゆでたり，いためたりできる。</li> <li>・米飯とみそ汁を作ることができる。</li> <li>・分量，色どり，食べやすさなどを考え，盛り付けや配膳ができる。</li> <li>・調理に必要な用具や食器及びこんろの安全で衛生的な取り扱いができる。</li> </ul>	<p>立て方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に合った洗い方や調理に合った材料の切り方，味の付け方及び後片付けの仕方を理解している。</li> <li>・材料や目的に応じたゆで方やいため方を理解している。</li> <li>・米飯とみそ汁の作り方を理解している。</li> <li>・盛り付けや配膳によって食事が楽しくなることを理解している。</li> <li>・調理に必要な用具や食器及びこんろの安全で衛生的な取扱い方を理解している。</li> </ul>
--	--	---	---

(6) 「住まい方への関心」

【学習指導要領の内容】

(6) 住まい方に関心をもって，身の回りを快適に整えることができるようにする。

ア 整理・整とんや清掃を工夫すること。

イ 身の回りを快適に整えるための手立てや工夫を調べ，気持ちよい住まい方を考えること。

【「住まい方への関心」の評価規準】

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
住まい方に関心をもち，身の回りを快適に整えようとしている。	住生活を見直し，身の回りを快適に整えることについて考えたり，自分なりに工夫したりしている。	身の回りの快適な整え方に関する基礎的な技能を身に付けている。	身の回りの快適な整え方について理解している。

【「住まい方への関心」の評価規準の具体例】

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物の整理・整とんや清掃に関心をもち，取り組もうとしている。</li> <li>・気持ちよい住まい方に関心をもち，自分の課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの整理・整とんや清掃の仕方を考えたり，自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・暖かさ，風通し，明るさなどから課題を選択し，快適な住まい方を考えたり，自分なりに工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物の整理・整とんや清掃ができる。</li> <li>・身の回りを快適に整えるための課題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物の整理・整とんや清掃について理解している。</li> <li>・気持ちよい住まい方について理解している。</li> </ul>

(7) 「物や金銭の使い方と買物」

【学習指導要領の内容】

(7) 身の回りの物や金銭の計画的な使い方を考え、適切に買物ができるようにする。

ア 物や金銭の使い方を自分の生活とのかかわりで考えること

イ 身の回りの物の選び方や買い方を考え、購入することができる。

【「物や金銭の使い方と買物」の評価規準】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
身の回りの物や金銭の計画的な使い方に関心を持ち、適切に買物をしようとしている。	身の回りの物や金銭の使い方を見直し、計画的な使い方と適切な買物について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	身の回りの物や金銭の計画的な使い方と適切な買物に関する基礎的な技能を身に付けている。	身の回りの物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について理解している。

【「物や金銭の使い方と買物」の評価規準の具体例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活とのかかわりから、物や金銭の使い方に関心をもっている。</li> <li>身の回りの物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に購入しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活とのかかわりから、物や金銭の使い方を考えたり自分なりに工夫したりしている。</li> <li>目的に合った適切な購入ができるように自分なりに工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物や金銭の有効な活用ができる。</li> <li>目的に合った適切な購入をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物や金銭の有効な活用について理解している。</li> <li>目的に合った物の選び方や適切な購入について理解している。</li> </ul>

(8) 「家庭生活の工夫」

【学習指導要領の内容】

(8) 近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活について環境に配慮した工夫ができるようにする。

【「家庭生活の工夫」の評価規準】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
近隣の人々との生活に関心を持ち、自分の家庭生活について環境に配慮した生活をしようとしている。	近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活を見直し、環境に配慮した生活を自分なりに工夫している。	近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活について環境への配慮した生活ができる。	近隣の人々との生活を考え、環境に配慮した自分の家庭生活について理解している。

【「家庭生活の工夫」の評価規準の具体例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の人々とかかわり支え合いながら自分の家庭生活が成り立っていることに興味をもっている。</li> <li>(1)「家庭生活と家族」から(7)「物や金銭の使い方と買物」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「家庭生活と家族」から(7)「物や金銭の使い方と買物」までの各項目での学習を生かして、自分の家庭生活について考えたり、自分なりに工夫した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「家庭生活と家族」から(7)「物や金銭の使い方と買物」までの各項目での学習を生かして、自分の家庭生活についての課題を解決するための基礎的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の人々とかかわり、支え合いながら自分の家庭生活が成り立っていることを理解している。</li> </ul>

<p>までの各項目での学習を生かして、自分の家庭生活上の課題の解決に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の人々や生活環境に配慮した家庭生活をしようとしている。</li> </ul>	<p>りしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の人々や生活環境との調和を考えて、自分なりに家庭生活の工夫をしている。</li> </ul>	<p>な技能を身に付けている。</p>	
--	--	---------------------	--

### 第3 題材の評価に関する事例

ここでは、第5学年における食生活に関する事例として、内容(4)「食事への関心(調和のよい食事のとり方)」と(5)「簡単な調理」を関連させて題材を構成した事例「日本の伝統的な食事 ごはんとみそ汁」を紹介する。なお、本事例の「題材の評価の総括」については、4観点の「学習活動における具体的評価規準」に重み付けをしたものである。

題 材 名	内 容							
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
「日本の伝統的な食事 ごはんとみそ汁」								

題材名「日本の伝統的な食事 ごはんとみそ汁」(8時間)  
第5学年 10月

#### 1 題材について

本題材は、日本の伝統的な食事の基本となる米飯とみそ汁をとり上げ、内容(5)「簡単な調理」と内容(4)「食事への関心」を関連付けて構成した。この学習を通して、米飯とみそ汁に関する基礎的な技能を身に付けるとともに、食品を組み合わせるとることの必要性に気づき、日常生活で実践できるようにすることをすることをねらいとしている。

子供たちは1学期に、毎日食べている食品の栄養的な特徴を知りいくつかのグループに分けられることについての学習や、ゆでて作る簡単な調理をしており、食事への関心も高まっている。ここでは、米の調理性を理解して炊飯をしたり、だし・みそ・実を考えてみそ汁を作ったりする。また、それだけで1食分の食事とした場合、どんな食品を加えれば栄養的に調和がとれるのか、1食分の食事を考える糸口となる学習とする。このようにして身に付けた知識や技能を活用して、よりよい食生活をしようとする意欲や態度を育てたいと考える。なお、この学習をもとに第6学年では、1食分の食事を考えたり整えたりできるよう、学習を深化させることとしている。

#### 2 題材の目標

- 米飯とみそ汁並びにそれを中心とした1食分の食事のとり方に関心を持ち、よりよい食生活をしようとする。 (関心・意欲・態度)
- おいしい米飯とみそ汁の作り方について考えたり、自分なりに工夫したりする。 (創意工夫)
- 調理用具や器具を安全に使い、米飯とみそ汁を作ることができる。 (技能)
- 米飯とみそ汁の作り方について理解する。 (知識・理解)

### 3 題材の評価規準

【内容 (5)アイエオカ (4)イ】

	ア 家庭生活への関心 ・意欲・態度	イ 生活を創意工夫 する能力	ウ 生活の技能	エ 家庭生活についての 知識・理解
内容の (5)ま とまり ごと (4)の 評価 規準	・調理に関心をもち、 日常よく使用される 食品を用いた簡単な 調理をしようとして いる。	・日常よく使用される 食品を用いた簡単な 調理について考えたり、 自分なりに工夫 したりしている。	・日常よく使用される 食品を用いた簡単な 調理に関する基礎的 な技能を身に付けて いる。	・日常よく使用される 食品を用いた簡単な 調理に関する基礎的 な事項について理解 している。
	・日常の食事に関心をもち、 調和のよい食事の とり方をしよう としている。			
題材の (5)評 価規 準	・米飯とみそ汁など日 常の食事に関心をも ち、作ろうとしてい る。	・おいしい米飯とみそ 汁の作り方について 考えたり、自分な りに工夫したりして いる。	・米飯とみそ汁の調理 計画を立て、実習す ることがきる。 ・米飯とみそ汁を作 ることができる。	・米の食品としての特 徴と炊飯の仕方につ いて理解している。 ・みその食品として の特徴とみそ汁の作 り方について理解し ている。
	(4) ・米飯とみそ汁を中心 とした1食分の食事 のとり方に関心をも っている。			
学習 活動 にお ける 具体 の評 価	米や炊飯について関 心をもっている。 みそやみそ汁の作り 方について関心をも っている。 計画をもとに、米飯 とみそ汁を作ろうと している。 米飯とみそ汁の調理 を家庭で実践しよう としている。	炊飯の仕方を考えたり 工夫したりしている。 みそ汁の作り方を考 えたり工夫したりし ている。 米飯とみそ汁の作業 手順を工夫して調理 計画を立てている。 盛り付けや配膳を工 夫している。	炊飯をすることがで きる。 みそ汁を作ることが できる。 調理用具や器具を安 全に使って調理でき る。	米の食品としての特 徴が分かっている。 炊飯の基礎と方法が 分かっている。 みその食品として の特徴が分かっている。 みそ汁の作り方が分 かっている。
	米飯とみそ汁を中心			

規 準	(4) として1食分の食事のとり方に関心をもっている。		
--------	-----------------------------	--	--

4 指導と評価の計画（全8時間）

記号と番号は3に示されたもの

時間	ねらい・学習活動	学習活動における具体の評価規準		評価方法	
		記号と番号	題材の評価規準との関連	教 師	児 童
1 ・ 2	米や炊飯について関心をもち米の食品としての特徴と炊飯の仕方が分かる。 ・米や炊飯の仕方を調べ、試し作りをする。 ・それをもとに、硬さの違う何種類かの米飯を試食し、話し合う。 ・おいしい米飯の炊き方についてのもてあてをもつ。	アの エの エの	・米や炊飯について関心をもっている。 ・米の食品としての特徴が分かっている。 ・炊飯の基礎が分かっている。(米の洗い方、水加減、浸水時間、加熱の仕方)	学習カード 発表 学習カード	学習カード 相互観察
3 ・ 4	みそやみそ汁作りについて関心をもち、みその食品としての特徴とみそ汁の作り方が分かる。 ・みそやみそ汁の作り方を調べ、試し作りをする。 ・それをもとに、だしのとり方やみその扱い方の違うみそ汁を試食し、話し合う。 ・おいしいみそ汁作りについてのもてあてをもつ。	アの エの エの	・みそやみそ汁の作りについて関心をもっている。 ・みその食品としての特徴が分かっている。 ・みそ汁の作り方が分かっている。(だしのとり方、みその扱い方、実の切り方・入れ方)	学習カード 発表 学習カード	学習カード 相互観察
5	おいしい米飯とみそ汁の作り方を考え、調理実習の計画を立てる。 ・目的に合わせ、材料と分量調理用具や器具を決める。  ・米飯とみそ汁の調理計画を立てる。	イの イの イの	・炊飯の仕方を考えたり工夫したりしている。 ・みそ汁の作り方を考えたり工夫したりしている。 ・米飯とみそ汁の作業手順を工夫して調理計画を立てている。	学習カード 発表 学習カード 発表	学習計画表

6	米飯とみそ汁を作ることができる。				
7	・米飯とみそ汁の調理実習をする。	アの	・計画をもとに、米飯やみそ汁を作ろうとしている。	実習の様子	
8		ウの ウの ウの	・炊飯をすることができる。 ・みそ汁を作ることができる。 ・調理用具や器具を安全に使用して調理できる。	実習の様子 実習の様子 実習の様子	
	・試食をする。	イの	・盛り付けや配膳を工夫している。	配膳の様子 試食 学習カード	試食 学習カード
	家庭での実践計画を立てる。	アの	・米飯とみそ汁の調理を家庭で実践しようとしている。	実践カード	
	米飯とみそ汁を中心とした1食分の食事のとり方に関心をもつ。 ・1食分の食事と考えると、米飯とみそ汁にどのような食品を加えれば、栄養的に調和がとれるかについて考える。	アの	・米飯とみそ汁を中心とした1食分の食事のとり方に関心をもっている。	発表 学習カード	学習カード 発言

## 5 観点別評価の進め方

### (1) 家庭生活への関心・意欲・態度

#### 評価の工夫

米飯とみそ汁に関心をもち、進んで調理しようとしているか、米飯とみそ汁を中心とした1食分の食事のとり方に関心をもっているか、米飯とみそ汁の調理を家庭で実践しようとしているかなどについて、学習カード、発表、実習の様子などによって評価していく。

「十分満足できる」(A)の状況を実現していると判断した児童の具体的な状況の例

アの ・家で炊飯の様子についても進んで発表し、さらに炊飯の仕方などに関心をもち、本などで積極的に調べている。

「努力を要する」(C)と評価した児童への指導の手だての例

アの ・家庭で調べてくることもなく、経験もないので発表ができない児童には、家庭の状況に配慮しつつ、おいしいご飯を食べた経験などを思い起こさせるなど興味・関心を高めるよう助言する。

### (2) 生活を創意工夫する能力

#### 評価の工夫

おいしい米飯の炊き方やみそ汁の作り方を考えたり工夫したりしているか、米飯とみそ汁の二つの調理を組み合わせたときの手順を工夫しているかなどについて、学習カード、発表、実習の様子などから評価するようにする。

「十分満足できる」(A)の状況を実現していると判断した児童の具体的な状況の例

イの ・試し作りから他のグループのものと比較しながら、米の洗い方、水の量、吸水、火加減や炊飯時間について考えたり、工夫したりしている。

「努力を要する」(C)と評価した児童への指導の手だての例

イの ・おいしいご飯の炊き方が理解できず、まとめられない児童には、グループへの参画など、他の児童から学ぶ場を設定するとともに、グループの話し合いが高まるように助言する。

### (3) 生活の技能

評価の工夫

米の計量や洗い方、水加減、浸水時間、加熱の仕方に注意しておいしい米飯ができるか、だしをとり、実の取り合わせを考えておいしいみそ汁を作ることができるかなどについて、調理実習中の活動の様子、作品、学習カードによる自己評価や相互評価などにより基礎的な技能の定着を評価する。本題材は米飯とみそ汁の調理技能を中心に評価することになるが、学習の前に児童の実態を的確に把握し、児童の伸びを認めるようにしていくことが大事である。

「十分満足できる」(A)の状況を実現していると判断した児童の具体的な状況の例

ウの ・安全に手際よく、一人で自信をもってみそ汁を作ることができる。

「努力を要する」(C)と評価した児童への手だて

ウの ・みそ汁作りがうまくできていない児童に対しては、学習計画表(調理計画)の作業手順を確認させるなど具体的な助言を与える。

### (4) 家庭生活についての知識・理解

評価の工夫

食品としての米やみその特徴がわかっているか、炊飯の基礎や方法、みそ汁の材料の選び方や作り方がわかっているかなどについて、学習カードなどにより評価する。その際、単なる知識の習得を見ることにとどまらず、他に活用できたり活用できたりするような知識が習得できたかについても評価していくようにする。

「十分満足できる」(A)の状況を実現していると判断した児童の具体的な状況の例

エの ・炊飯の基礎を応用し、米の分量や好みの硬さに応じた炊飯の仕方が分かり、自分のことばで説明できる。

「努力を要する」(C)と評価した児童への指導の手だての例

エの ・炊飯の基礎や方法について十分な理解が得られなかった児童に対しては、提示資料などに再度目を向けさせ、具体的な言葉で助言していく。

## 6 題材ごとの評価の総括について

(1) 題材の評価計画を作成して具体的な評価規準(「題材の評価規準」,「学習活動における具体の評価規準」)を設定する。その際、題材によって重視する観点や評価規準があれば、重み付けをすることが考えられる。重み付けの程度としては、2年間を総合した場合に、観点間に大きな差異が生じない程度にすることが望ましい。この事例では、「学習活動における具体の評価規準」において、観点「生活の技能」の と を、評価回数を増やして重み付けを行った。

(2) 題材の「学習活動における具体の評価規準」に基づいて、授業中あるいは授業後における観察、学習カードの記入状況、作品などにより、A, B, Cで観点別の評価を行った。

(3) 4つの「観点ごとの総括」は、(2)で行ったA, B, Cを3, 2, 1で数値化し、評価の各観点の合計点について、満点の85%以上であればA, 84%~50%=B, それ未満であればCとする考え方に立って総括した。例えば、下表の児童A・Sの「観点ごとの総括」は、次のようにして導き出したものである。

<例：児童A・Sさんの場合>

関・意・態 B A A B A = (2 + 3 + 3 + 2 + 3) = 13点 (13 / 15 × 100) = 86.7% A

創意工夫 A A A A = 12点 100% A

技 能 A A A B A = 14点 93.3% A

知 ・ 理 A A B B = 10点 83.3% B

